

平成 22 年国勢調査 人口等基本集計結果の概要

愛媛県の人口 1,431,493 人

男 673,326 人 女 758,167 人

世帯総数 590,888 世帯

数値の見方

- 本文及び図表中の数値は、表章単位未満で四捨五入している。本文及び図表中の値は、表章単位未満を含んだ数値から算出している。
- 総数には、「不詳」を含むことがある。
- 割合は、特に注記のない限り分母から不詳を除いて算出している。また、過去の割合も同様の方式で算出している。

1.人口増減

(1) 県全体

平成 17 年と比べ 36,322 人、2.47%減少

表1-1-1 男女別人口－愛媛県(平成17年、22年)

	平成22年	平成17年	増減数	増減率(%)
総人口	1,431,493	1,467,815	▲ 36,322	▲ 2.47
男	673,326	691,677	▲ 18,351	▲ 2.65
女	758,167	776,138	▲ 17,971	▲ 2.32

(2) 市町別

人口増加は松山市 1 市のみ。松山市以外の 10 市 9 町は人口が減少。

松山市の増加率は 0.45%。減少率が最も高いのは久万高原町 (11.89%) 次いで伊方町 (10.03%)。

表1-1-2 人口増減数の大きい市町
(平成17～22年)

増加		減少	
市町名	増加数(人)	市町名	減少数(人)
松山市	2,294	今治市	▲ 7,451
—	—	宇和島市	▲ 5,234
—	—	大洲市	▲ 3,629
—	—	八幡浜市	▲ 2,894
—	—	西予市	▲ 2,868

表1-1-3 人口増減率の大きい市町
(平成17～22年)

増加		減少	
市町名	増加率(%)	市町名	減少率(%)
松山市	0.45	久万高原町	▲ 11.89
—	—	伊方町	▲ 10.03
—	—	愛南町	▲ 9.67
—	—	内子町	▲ 8.03
—	—	大洲市	▲ 7.15

2.圏域別人口

松山圏域が県全体の45.6%を占め、平成17年と比べ全ての圏域で人口が減少。

表1-2 圏域別人口－愛媛県(平成17年、22年)

圏域	平成22年		平成17年		人口増減	
	人口(人)	割合(%)	人口(人)	割合(%)	増減数(人)	増減率(%)
県計	1,431,493	100.0	1,467,815	100	▲ 36,322	▲ 2.47
宇摩圏	90,187	6.3	92,854	6.3	▲ 2,667	▲ 2.87
新居浜・西条圏	233,826	16.3	237,323	16.2	▲ 3,497	▲ 1.47
今治圏	174,180	12.2	182,081	12.4	▲ 7,901	▲ 4.34
松山圏	652,485	45.6	653,642	44.5	▲ 1,157	▲ 0.18
八幡浜・大洲圏	156,534	10.9	168,713	11.5	▲ 12,179	▲ 7.22
宇和島圏	124,281	8.7	133,202	9.1	▲ 8,921	▲ 6.70

【宇摩圏】四国中央市 【松山圏】松山市、伊予市、東温市、久万高原町、松前町、砥部町

【新居浜・西条圏】新居浜市、西条市 【八幡浜・大洲圏】八幡浜市、大洲市、西予市、内子町、伊方町

【今治圏】今治市、上島町 【宇和島圏】宇和島市、松野町、鬼北町、愛南町

3.年齢（3区分）別人口及び年齢構成指数

平成17年と比べ年少（0～14歳）人口及び生産年齢（15～64歳）人口はそれぞれ0.6ポイント、2.0ポイント低下し、老年（65歳以上）人口は2.6ポイント上昇。

(1) 県全体年齢（3区分）別人口

表1-3-1 年齢(3区分)、男女別人口－愛媛県(平成17年、22年)

年齢区分	平成22年		平成17年		平成17～22年の差		
	人口(人)	割合(%)	人口(人)	割合(%)	増減数(人)	増減率(%)	割合差
総数	1,431,493	100.0	1,467,815	100.0	▲ 36,322	▲ 2.5	－
0～14歳	185,179	13.0	200,270	13.7	▲ 15,091	▲ 7.5	▲ 0.6
15～64歳	858,991	60.4	914,747	62.4	▲ 55,756	▲ 6.1	▲ 2.0
65歳以上	378,591	26.6	351,990	24.0	26,601	7.6	2.6
男(総数)	673,326	100.0	691,677	100.0	▲ 18,351	▲ 2.7	－
0～14歳	94,802	14.2	102,707	14.9	▲ 7,905	▲ 7.7	▲ 0.7
15～64歳	419,901	62.8	446,057	64.5	▲ 26,156	▲ 5.9	▲ 1.7
65歳以上	153,756	23.0	142,438	20.6	11,318	7.9	2.4
女(総数)	758,167	100.0	776,138	100.0	▲ 17,971	▲ 2.3	－
0～14歳	90,377	12.0	97,563	12.6	▲ 7,186	▲ 7.4	▲ 0.6
15～64歳	439,090	58.2	468,690	60.4	▲ 29,600	▲ 6.3	▲ 2.2
65歳以上	224,835	29.8	209,552	27.0	15,283	7.3	2.8

※総数は、年齢「不詳」を含む。割合は、分母から年齢「不詳」を除いて算出。

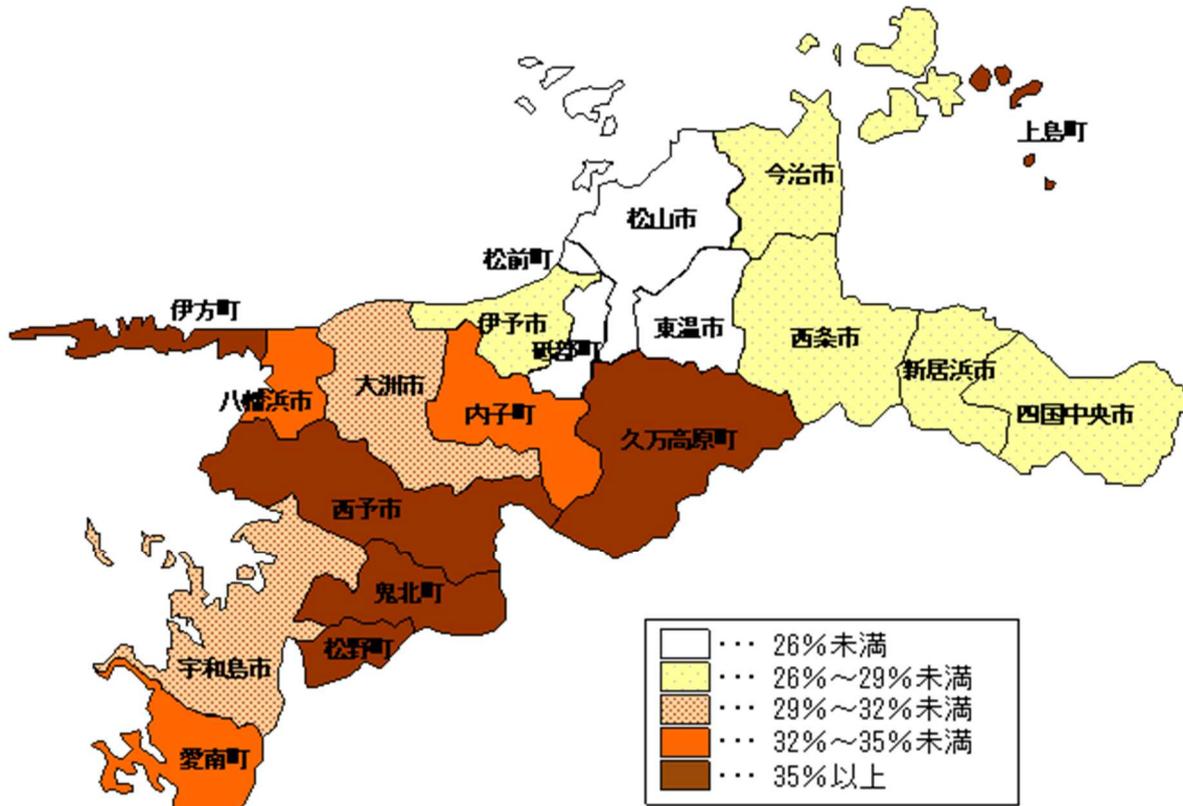
(2) 市町別年齢（3区分）別人口割合

0～14歳人口の割合が最も高いのは、松前町（13.8%）、次いで新居浜市（13.7%）。
 15～64歳人口の割合が最も高いのは、松山市（64.5%）、次いで東温市（62.7%）。
 65歳以上人口の割合が最も高いのは、久万高原町（44.9%）、次いで伊方町（39.0%）。

表1-3-2 年齢3区分別人口割合の高い市町及び低い市町—上位5位
 —愛媛県(平成22年)

	0～14歳		15～64歳		65歳以上	
	市町名	割合(%)	市町名	割合(%)	市町名	割合(%)
割合が高い	松前町	13.8	松山市	64.5	久万高原町	44.9
	新居浜市	13.7	東温市	62.7	伊方町	39.0
	西条市	13.7	砥部町	61.7	鬼北町	38.0
	松山市	13.6	松前町	61.0	上島町	37.7
	砥部町	13.4	四国中央市	60.7	松野町	37.3
割合が低い	上島町	7.9	久万高原町	45.7	松山市	22.0
	久万高原町	9.3	鬼北町	50.9	東温市	24.0
	伊方町	9.8	伊方町	51.2	砥部町	24.9
	松野町	10.8	西予市	51.8	松前町	25.1
	鬼北町	11.1	松野町	52.0	四国中央市	26.1

図1 市町別 65歳以上人口の割合-愛媛県（平成22年）



(3) 年齢構成指数

表1-3-3 年齢構成指数－愛媛県(平成17年、22年)

年齢区分	平成22年	平成17年	増減	
年少人口指数	21.6	21.9	▲ 0.3	$\frac{0\sim14\text{歳人口}}{15\sim64\text{歳人口}} \times 100$
老年人口指数	44.1	38.5	5.6	$\frac{65\text{歳以上人口}}{15\sim64\text{歳人口}} \times 100$
従属人口指数	65.6	60.4	5.3	$\frac{0\sim14\text{歳人口}+65\text{歳以上人口}}{15\sim64\text{歳人口}} \times 100$
老年化指数	204.4	175.8	28.7	$\frac{65\text{歳以上人口}}{0\sim14\text{歳人口}} \times 100$

4. 配偶関係

15歳以上の配偶関係をみると、平成17年と比べて男性では有配偶以外の割合が上昇。女性では死別、離別の割合が上昇。

表1-4 配偶関係、男女別15歳以上人口－愛媛県(平成17年、22年)

配偶関係	平成22年		平成17年		平成17～22年の差		
	人口(人)	割合(%)	人口(人)	割合(%)	増減数(人)	増減率(%)	割合差
男性 総数	573,657	100.0	588,495	100.0	▲ 14,838	▲ 2.5	－
未婚	157,800	27.7	160,455	27.5	▲ 2,655	▲ 1.7	0.2
有配偶	364,161	64.0	379,148	65.0	▲ 14,987	▲ 4.0	▲ 1.0
死別	20,844	3.7	20,502	3.5	342	1.7	0.1
離別	26,065	4.6	23,205	4.0	2,860	12.3	0.6
不詳	4,787	－	5,185	－	－	－	－
女性 総数	663,925	100.0	678,242	100.0	▲ 14,317	▲ 2.1	－
未婚	134,956	20.5	139,665	20.7	▲ 4,709	▲ 3.4	▲ 0.2
有配偶	365,655	55.6	380,807	56.5	▲ 15,152	▲ 4.0	▲ 0.9
死別	111,568	17.0	112,565	16.7	▲ 997	▲ 0.9	0.3
離別	45,133	6.9	41,014	6.1	4,119	10.0	0.8
不詳	6,613	－	4,191	－	－	－	－

※割合は、分母から「不詳」を除いて算出。

5.国籍別外国人数

平成17年と比べ1,055人、15.6%増加。

国籍別では、中国が最も多く、次いで韓国・朝鮮。

表1-5 国籍別外国人数－愛媛県(平成17年、22年)

国籍	平成22年		平成17年		平成17～22年の差		
	人口(人)	割合(%)	人口(人)	割合(%)	増減数(人)	増減率(%)	割合差
外国人 総数	7,828	100.0	6,773	—	1,055	15.6	—
韓国, 朝鮮	1,161	14.8	1,269	18.7	▲108	▲8.5	▲3.9
中国	4,259	54.4	3,908	57.7	351	9.0	▲3.3
フィリピン	754	9.6	568	8.4	186	32.7	1.2
タイ	77	1.0	53	0.8	24	45.3	0.2
インドネシア	148	1.9	96	1.4	52	54.2	0.5
ベトナム	146	1.9	40	0.6	106	265.0	1.3
イギリス	38	0.5	46	0.7	▲8	▲17.4	▲0.2
アメリカ	156	2.0	153	2.3	3	2.0	▲0.3
ブラジル	126	1.6	123	1.8	3	2.4	▲0.2
ペルー	27	0.3	30	0.4	▲3	▲10.0	▲0.1
その他(無国籍及び国籍不詳を含む)	936	12.0	487	7.2	449	92.2	4.8

※平成17年の数値は、外国人に関する特別集計結果による。

6.世帯数及び世帯人員

(1) 世帯の種類別(2区分) 世帯数及び世帯人員

本県の総世帯数(590,888世帯)のうち、一般世帯数は、589,676世帯で、平成17年に比べ1.5%増加。一般世帯の1世帯あたり人員は、平成17年の2.47人から2.37人に減少。

表1-6-1 世帯の種類別(2区分) 世帯数及び世帯人員－愛媛県(平成17年、22年)

世帯の種類	平成22年		平成17年		平成17～22年の差		
	世帯数・人員	割合(%)	世帯数・人員	割合(%)	世帯数・人員	増減率(%)	
総世帯数	590,888	100.0	582,803	100.0	8,085	1.4	
一般世帯	世帯数	589,676	99.8	581,003	99.8	8,673	1.5
	世帯人員	1,394,969人	97.4	1,433,213人	97.7	▲38,244	▲2.7
	1世帯あたり人員	2.37人		2.47人		▲0.10人	▲4.1
施設等の世帯	世帯数	1,212	0.2	1,078	0.2	134	12.4
	世帯人員	36,524人	2.6	33,794人	2.3	2,730人	8.1

※総数は、世帯の種類「不詳」を含む場合がある。割合は、分母から「不詳」を除いて算出。

※「施設等の世帯」とは、寮・寄宿舎の学生・生徒、病院・療養所の入院者、社会施設の入所者、自衛隊営舎内居住者、矯正施設の入所者等の世帯。

(2) 世帯人員別一般世帯数

世帯人員別では、1人世帯が最も多く、一般世帯の31.0%を占めている。

表1-6-2 一般世帯の世帯人員別世帯数－愛媛県(平成17、22年)

世帯人員	平成22年		平成17年		平成17～22年の差		
	世帯数	割合(%)	世帯数	割合(%)	増減世帯数	増減率(%)	割合差
一般世帯 総数	589,676	100.0	581,003	100.0	8,673	1.5	－
世帯人員が1人	182,588	31.0	166,730	28.7	15,858	9.5	2.3
うち高齢単身世帯	69,375	11.8	61,097	10.5	8,278	13.5	1.2
世帯人員が2人	181,751	30.8	175,102	30.1	6,649	3.8	0.7
うち高齢夫婦世帯	74,370	12.6	69,016	11.9	5,354	7.8	0.7
世帯人員が3人	107,759	18.3	108,714	18.7	▲ 955	▲ 0.9	▲ 0.4
世帯人員が4人以上	117,578	19.9	130,457	22.5	▲ 12,879	▲ 9.9	▲ 2.5

※「高齢単身世帯」とは、65歳以上の一人のみの一般世帯。

※「高齢夫婦世帯」とは、夫が65歳以上、妻が60歳以上の夫婦1組のみの一般世帯。

7.一般世帯の家族類型

平成17年と比べ核家族世帯のうち夫婦のみの世帯は1.6%増加、夫婦と子供から成る世帯は4.1%減少。単身世帯は9.5%増加し、一般世帯に占める割合も2.3ポイント上昇。

表1-7 一般世帯の家族類型別世帯数－愛媛県(平成17年、22年)

家族類型	平成22年		平成17年		平成17～22年の差			
	世帯数	割合(%)	世帯数	割合(%)	増減世帯数	増減率(%)	割合差	
一般世帯 総数	589,676	100.0	581,003	100.0	8,673	1.5	－	
親族のみの世帯	核家族世帯	345,438	58.6	345,181	59.4	257	0.1	▲ 0.8
	夫婦のみの世帯	134,774	22.9	132,663	22.8	2,111	1.6	0.0
	夫婦と子供から成る世帯	154,170	26.2	160,793	27.7	▲ 6,623	▲ 4.1	▲ 1.5
	一人親と子供から成る世帯	56,494	9.6	51,725	8.9	4,769	9.2	0.7
	核家族以外の世帯	58,067	9.9	66,223	11.4	▲ 8,156	▲ 12.3	▲ 1.5
	うち3世代世帯	35,081	6.0	42,079	7.2	▲ 6,998	▲ 16.6	▲ 1.3
非親族を含む世帯	3,401	0.6	2,869	0.5	532	18.5	0.1	
単身世帯	182,588	31.0	166,730	28.7	15,858	9.5	2.3	

※総数は、家族類型「不詳」を含む。割合は、分母から「不詳」を除いて算出。

※平成17年の数値は、新分類区分適及集計結果による。

8.65 歳以上世帯員のいる一般世帯

65歳以上世帯員のいる一般世帯は平成17年と比べ14,706世帯（6.3%）増加。内訳では、夫婦のみの世帯が31.3%と最も多くを占め、次いで単独世帯が28.1%を占めている。

表1-8 65歳以上世帯員のいる一般世帯の家族類型別世帯数－愛媛県（平成17年、22年）

家族類型	平成22年		平成17年		平成17～22年の差			
	世帯数	割合(%)	世帯数	割合(%)	増減世帯数	増減率(%)	割合差	
一般世帯 総数	589,676	—	581,003	—	8,673	1.5	—	
65歳以上世帯員のいる世帯	247,095	100.0	232,389	100.0	14,706	6.3	—	
親族のみの世帯	核家族世帯	128,341	51.9	114,912	49.4	13,429	11.7	2.5
	夫婦のみの世帯	77,328	31.3	72,269	31.1	5,059	7.0	0.2
	夫婦と子供から成る世帯	26,133	10.6	21,755	9.4	4,378	20.1	1.2
	一人親と子供から成る世帯	24,880	10.1	20,888	9.0	3,992	19.1	1.1
	核家族以外の世帯	48,323	19.6	55,582	23.9	▲7,259	▲13.1	▲4.4
	うち3世代世帯	29,837	12.1	36,081	15.5	▲6,244	▲17.3	▲3.5
非親族を含む世帯	1,056	0.4	798	0.3	258	32.3	0.1	
単独世帯	69,375	28.1	61,097	26.3	8,278	13.5	1.8	

※平成17年の数値は、新分類区分適及集計結果による

9.住居の状態

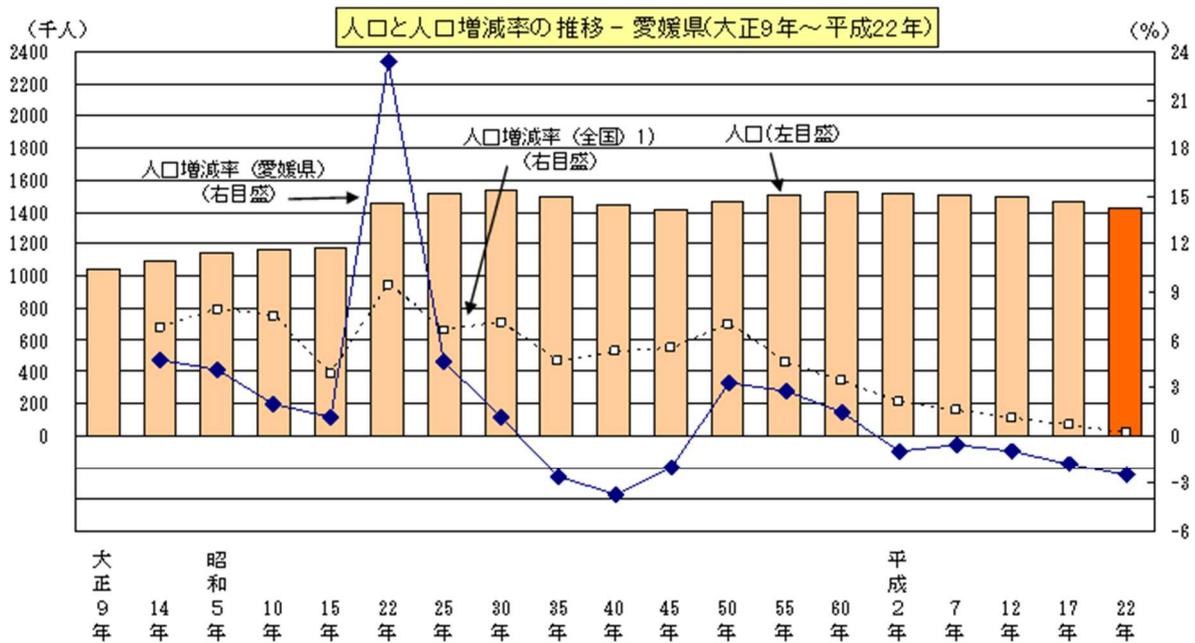
住宅に住む一般世帯の持ち家の割合は66.7%で、平成17年と比べ0.6ポイント上昇している。

表1-9 住居の種類・住宅の所有の関係別一般世帯数－愛媛県（平成17年、22年）

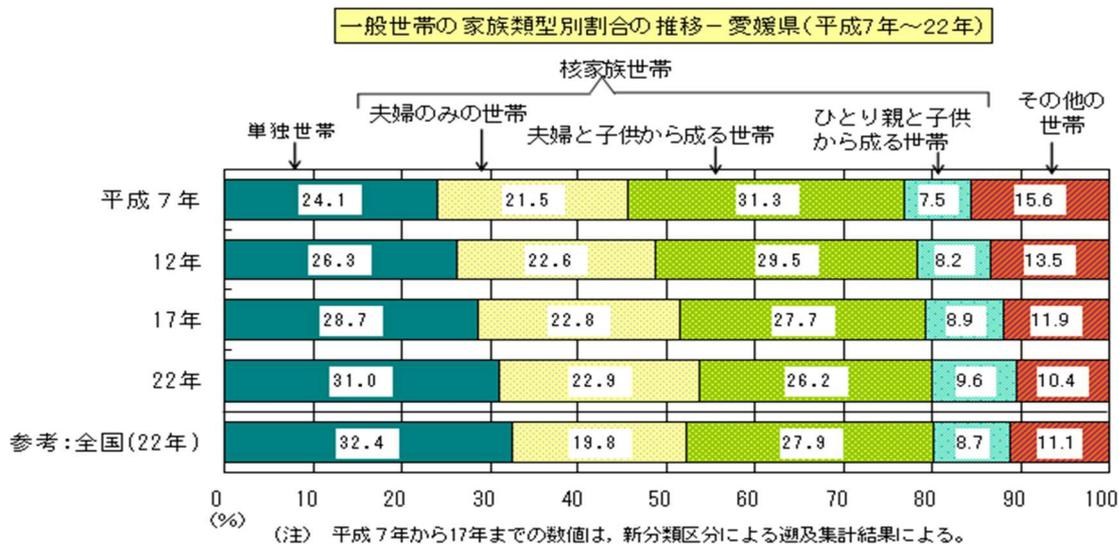
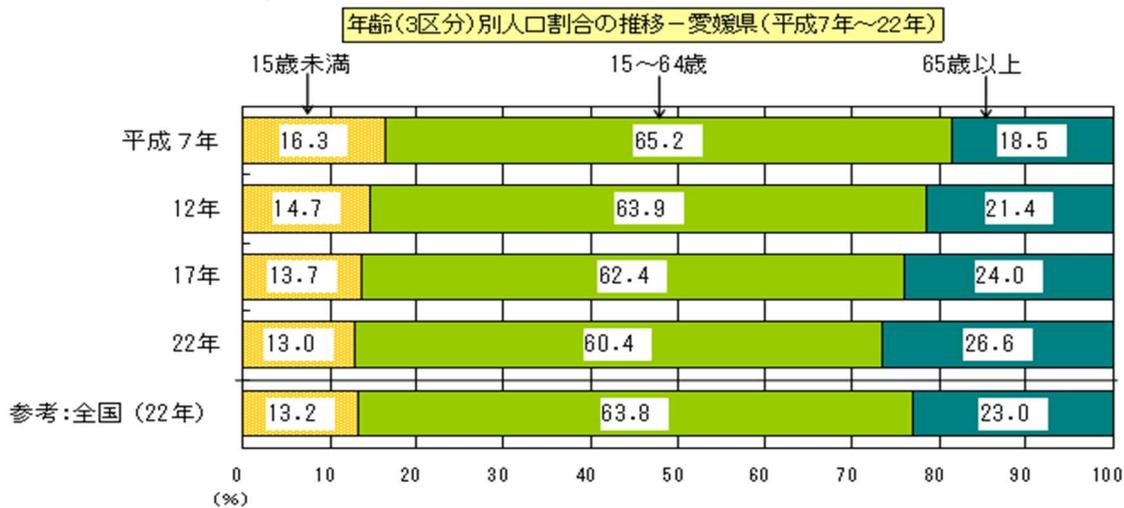
住居の種類・住宅の所有の関係	平成22年		平成17年		平成17～22年の差		
	世帯数	割合(%)	世帯数	割合(%)	増減世帯数	増減率(%)	割合差
一般世帯総数	589,676	—	581,003	—	8,673	1.5	—
住宅に住む一般世帯	581,955	100.0	573,105	100.0	8,850	1.5	—
主世帯	574,672	98.7	565,642	98.7	9,030	1.6	0.1
持ち家	387,886	66.7	378,362	66.0	9,524	2.5	0.6
公営の借家	23,973	4.1	25,041	4.4	▲1,068	▲4.3	▲0.2
都市再生機構・ 公社の借家	169	0.0	464	0.1	▲295	▲63.6	▲0.1
民営の借家	147,129	25.3	145,344	25.4	1,785	1.2	▲0.1
給与住宅	15,515	2.7	16,431	2.9	▲916	▲5.6	▲0.2
間借り	7,283	1.3	7,463	1.3	▲180	▲2.4	▲0.1
住宅以外に住む 一般世帯	7,721	—	7,898	—	▲177	▲2.2	—

※住宅以外とは、寄宿舍・寮や病院・学校・旅館・会社・工場・事務所など。

平成22年国勢調査 人口等基本集計結果の概要 人口グラフ



(注) 1) 昭和22年及び25年の人口増減率は沖縄県を除いて算出。



人口ピラミッドの推移

